

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

対象者：5名

長与校

実施時期：令和2年10月

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が活動スペース（指導訓練室等）との関係で適切であるか	5			学習と活動のスペースを分けている。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	1		標準配置数以上の配置をしている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2		児童からの意見を受け入れていきたい。
業務 改善	4	業務改善を進めるための目標を設定し、振り返りに広く職員が参画しているか	5			ミーティングや課題検討などで随時意見交換を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1		連絡帳や文書、電子メールや送迎時、来校時に実施している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1	1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			研修情報を集め参加したり、研修内容を職員間で共有するため、事業所内研修を実施している。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			相談支援事業所と連携を図り、アセスメントを適切に行い、保護者や子どものニーズを把握し計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、発達状況、心理的課題、養育環境、子どもの興味関心ごと、必要な情報を収集しているか	5			日々アンテナを張って必要な情報を収集している。
	11	活動内容をチームで話し合い、共有しているか	5			午前中や支援後、職員同士で話を行い情報共有できるように努めている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5			季節のイベント、戸外活動、ダンス教室への参加、集団遊び等各種イベントを実施している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5			さらにきめ細やかに設定し、療育の質を上げていきたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせているか	5			部屋を分ける等工夫して実施している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		支援内容担当の掲示をしている。前日の様子や活動内容等を申し送りしている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		緊急でない場合、翌日の午前中を中心に実施している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			活動報告書を作成している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			相談支援事業所や保護者との話し合いの場を設けている。 活動報告書や療育内容をもとに、ミーティングや課題検討などで実施している。
	19	基本的な生活習慣の習得、創作活動を通じての自己表現、地域交流による社会性の向上、活動選択し自己決定を促す等の支援を行っているか	3	2		地域交流の機会を今後増やしていきたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			児発管や担当指導員のみでなく、可能な限り他のスタッフも参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4	1		緊急時や送迎の変更があった際は、携帯電話などで連絡が取れる体制を整えている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	3		現在医療的ケアが必要な子どもがいないが、主治医などを把握し、緊急時には迅速に対応できるようにしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3		2	卒園してすぐの児童がいない為、保育所等との情報共有はないが、新規児童は学校に挨拶の電話を入れると共に、学校での様子や関わる際に気を付けること等を聞くなど、情報共有に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1	1	現在該当者がいないが、情報提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2		コロナで研修の場がないこともあり参加できていないが、今後研修会やセミナーに参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	1	児童館などに行って遊ぶなどの機会を増やしていきたい。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	4	1		研修や勉強会に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			連絡帳や文書、電子メールや送迎時、来校時に実施している。 活動報告書を毎月共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	1	長崎市、長崎県が委託している制度等のお知らせがある際、今後周知していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5			見学や体験時、入所前に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			相談があればその都度対応している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3		保護者を対象とした研修会や意見交換会を企画していきたい。また、父母の会や保護者会の設立ニーズをもう一度時期を見て確認したい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		苦情受付担当者や解決責任者の体制を整備し、迅速に対応できるようにしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	1	1	連絡帳や文書、電子メールや送迎時、来校時に実施している。
	35	個人情報に十分注意しているか	3	2		鍵付き書庫で保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			絵や図、道具、連絡帳や電子メール、FAX等を活用し情報伝達を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	2	交流の機会を増やしていきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2		マニュアル周知の研修を行うなど、今後さらなる周知に取り組んでいきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	3	2		年に2回避難訓練をするようにしている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		長与町からの出前講座（虐待防止）に参加した。今後も強度行動障害者研修や虐待防止研修に積極的に参加していきたい。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3		パニック時室内を飛び出しそうになる子どもに対して、動きを制止することがりその都度保護者に伝達している。今後計画書内に記載し、事前に十分説明を行い了承を得るよう努める。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	3		食物アレルギーの有無は利用開始時に行っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	1	供覧できるようにしている。